

東法連ニュース

2025年
(令和7年)
4・5月号
第452号

一般社団法人 東京法人会連合会 © 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階

TEL 03-3357-0771 (代) URL: <https://www.tohoren.or.jp> Mail: info@tohoren.or.jp

東京国税局長賞
全法連女連協会賞



【北沢法人会】松本 澤珠さん(6年生)

東京都主税局長賞
優秀賞



【豊島法人会】金井 環/助さん(5年生)
優秀賞

東京都知事賞
東法連女連協会賞



【大森法人会】檜森 麻雅さん(6年生)
優秀賞



【杉並法人会】新林 未梨さん(6年生)
優秀賞



【玉川法人会】村上 はなさん(6年生)
優秀賞



【武蔵野法人会】松村 里倅さん(6年生)



【王子法人会】高橋 桜さん(6年生)

東 法 連

「税に関する絵はがきコンクール」 入賞作品

東法連女性部会連絡協議会



あいさつする水野珠貴
女連協会長



あいさつする高野吉太郎
女性部会担当副会長



講演する島本美由紀氏

東法連女性部会連絡協議会は、3月6日、全体連絡会議を京王プラザホテル(新宿)で開催し、約200名が出席した。会議では、初めに女性部会会員数の現況や食品ロス削減、今年9月に北海道で開催される全国女性フォーラムについて情報が共有され、その後、料理研究家・防災士の島本美由紀氏による講演が行われた。テーマは「家庭でできる食品ロス

減の削減のコツ&防災備蓄」。食品ロスの現状や日常的な食品保存方法、災害時の備えについて解説した。続いて、絵はがきコンクールの選考結果発表では、水野珠貴女連協会長(麹町法人会常任理事)、高野吉太郎女性部会担当副会長(新宿法人会会長)の挨拶後、星屋和彦東京国税局長、武田康弘東京都主税局長による来賓の挨拶があった。表彰式には、小池百合子東京都知事も来賓として駆けつけ、表彰を前に挨拶があった。最優秀賞である全法連女連協会

長賞・東京国税局長賞には、北沢法人会推薦の松本滯珠(まつもと・れいず)さんの作品が受賞。東法連女連協会長賞・東京都知事賞には、大森法人会の檜森麻雛(ひもり・まひな)さんの作品が受賞した。また東京都主税局長賞には、優秀賞5作品の中から、豊島法人会推薦の金井環ノ助(かない・かんのすけ)さんの作品が選ばれ、他の優秀賞の受賞者と共に表彰状と副賞が授与された。

応募総数は2万7千点以上



星屋東京国税局長と局長賞の松本滯珠さん(右)



小池東京都知事と都知事賞の檜森麻雛さん(右)

本年度の東法連女連協の「税に関する絵はがきコンクール」は、前年度に続いて東法連全48単位会で開催され、応募総数は2万7千点以上に上った。選考は1月29日に全法連会館で行われ、東法連女

連協の役員・顧問のほか、東京国税局・東京都主税局の法人会担当者、東京都図画工作研究会顧問の辻政博氏が外部選考委員を務めた。各会からの推薦作品はどれも力作ぞろい、選考は白熱した。



受賞者全員で記念撮影

令和7年度事業計画で健康経営の推進を了承 会員増強ハンドブックの作成を報告

東法連理事会



東法連理事
会を3月24日、
全法連会館で
開催し、令和
7年度事業計画及び予算について
審議が行われ原案通り承認された。

事業計画では、「税」に関する活動に力点を置き、行政と連携した公益性の高い事業展開に努め、

組織基盤の安定のため会員増強と福利厚生制度の推進に一層力を注ぐことを基

本方針としている。各論部分では組織の充実強化として、協力保険会社とその推進員の会員増強に関わる環境を整え協

力体制を構築すること、厚生共益関連では、会員企業の人材確保支援のための特定退職金共済会との連携協力が盛り込まれた。また、全法連の要請を受けて健康経営委

員会を新設し、健康経営の推進に取り組むこと、外部機関との関係においては、税務当局が進める「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」について、国税当局等と連携しながら進めていくこととした。

予算については、経常収益合計で前年度比約540万円増の2億43百万円の予算が承認された。

また、第13回通常総会の開催(6月11日(水)於明治記念館)と、健康経営委員会新設のための委員会規程の改定が承認された。

報告事項では、平成30年作成の「組織強化マニュアル」の後継版として、会員増強に関するアン

ケート結果の分析を盛り込んだ、令和版「会員増強ハンドブック」を作成したことが報告された。



令和版「会員増強ハンドブック」

協力保険会社および その推進員との 一層の協力体制を構築 組織委員会・同連絡協議会



あいざつする
齊藤政二委員長

第3回組織

3日、グランドヒル市ヶ谷で開催され、令和7年度の事業計画案について審議が行われた。「協力保険会社およびその推進員との一層の協力体制を構築する」としている。また、会員数につ



事例発表を行う
武蔵府中法人会
横山光芳氏



表彰状を受け取る
江戸川北法人会佐藤大輔氏(右)

いては1月末現在で約11万社、前年同月比で約2千3百社減少しているとの報告があった。
委員会後の連絡協議会では、令和6年度会員増強策・退会防止策に関する表彰状の贈呈とともに、最優秀賞の武蔵府中法人会（アイデア部門）と江戸川北法人会（マインドアップ部門）から事例発表があり、他の会の参考となる取り組みが共有された。

東法連各委員会の開催

東法連では、各委員会が開催され、令和6年度の事業活動報告や令和7年度の事業計画案について審議が行われた。

2月26日に開催された第2回厚生共益事業委員会（高橋利充委員長）

長・練馬西法人会会長）では、「チャレンジ100」を次年度も継続実施し、既存の貸倒保障制度、アウディジャパン優待プログラム、ビジネスカードなどの推進とともに、より会員企業のメリットとなる施策を検討していくとした。
3月13日に開催された第2回公益事業委員会（竹ノ上藏造委員長）

長・芝法人会会長）では、令和6年度の地球温暖化対策報告書の会員企業提出数が過去最大の1685件であったことなどが報告された。事業計画案では、公益事業活動は、引き続き税を中心として行い、健康経営プロジェクトや食品ロスについては、各部会や全法連と連携して取り組むとしている。

3月14日に開催された第3回総務委員会（松本光史委員長・江東東法人会会長）では、健康経営の推進に東法連として取り組み始めることを含め、事業計画案を総括的に審議し、予算案とともに了承された。また新たに「健康経営委員会」を設けるため、委員会規程改定案が審議され、承認された。

令和6年度 単位の広報活動表彰

表彰式と受賞会の事例発表を実施

広報委員会連絡協議会



あいざつする
清水宏益委員長

令和6年度



表彰状を受け取る
芝法人会江口敬二氏(右)



事例発表を行う板橋法人会
須賀譲之助氏と青年部会員



事例発表を行う
青梅法人会小町早苗氏

第1回広報委員会連絡協議会（清水宏益委員長・武蔵

野法人会会長）が、3月11日、グランドヒル市ヶ谷で開催され、2月5日開催の第2回広報委員会の報告、並びに令和6年度単位の広報活動に関する表彰式と受賞会の事例発表を実施した。
受賞した芝法人会、板橋法人会、青梅法人会の3会は、表彰後、事例発表を行い、その後の質疑応答では活発な意見交換が行われた。

